

事業評価書

補助事業名	令和7年度小松飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：特別支援教育支援員配置事業）						
補助事業者名	小松市長						
実施場所	市内小中学校・義務教育学校						
補助事業実施の成果の目標	市内小中学校及び義務教育学校に特別支援教育支援員を配置し、在籍する児童、生徒の個々の障害の特性に応じた支援の充実を図る。 学校へのアンケート結果：達成度60%						
補助事業の内容	市内小中学校・義務教育学校に特別支援教育支援員を配置。						
補助事業の始期と終期	基金の造成 令和5年度～令和8年度 基金の処分 令和5年度～令和9年度						
事業費及び 交付金額	基金造成額				基金処分額 (円)	基金残額 (円)	継続事業に 要した額 (円)
	年度	交付金 (円)	運用益 (円)	計 (円)			
	5	70,000,000	1,948	70,001,948	34,432,392	35,569,556	34,432,392
	6	70,000,000	76,554	70,076,554	65,029,781	40,616,329	65,029,781
	7	70,000,000	527,169	70,527,169	83,196,221	27,947,277	83,196,221
計	210,000,000	605,671	210,605,671	182,658,394	27,947,277	182,658,394	
補助事業の成果及び評価並びに関係住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 支援を要する児童生徒は年々増加傾向にあり、特別支援学級に限らず、通常学級在籍の配慮を要する児童生徒への支援も増えているが、特別支援教育支援員の個々の障害の特性に応じた支援により、児童生徒が落ち着いた学校生活を送ることができ、児童生徒の成長の大きな支えとなっている。また、学校生活におけるサポートにより、教職員の負担軽減にも繋がっており、支援員の継続配置を求める学校がほとんどである。</p> <p>アンケート結果： 特別支援教育支援員の配置により、個々の特性に応じた支援ができたと思う割合：100%</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ホームページに掲載</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後も特別支援教育支援員の人材確保に努め、個々の障害の特性に応じた支援の継続により、児童生徒の学習環境の維持を図る。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						